

会員の皆様へ

1. 会長就任のご挨拶

1996-1997年の2年間、会長をさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。研究会の発足当初から現在までの活動を継承、発展させ、さらに会員にメリットのあるネットワークづくりを進めていきたいと考えております。随時、ご意見やご希望を事務局までお寄せ頂き、また研究会を十二分にご活用下さいようお願い申し上げます。今期の運営体制につきましては、該当のページをご覧ください。今期から役員を会長、副会長、評議員とし、このメンバーで編集委員会も構成させていただきます。なお、必要に応じて、年度の途中から評議員をお願いすることもあると思います。その場合にはご報告させていただきますので、予めご了解下さい。

2. 「根の研究」の発行

「根の研究」の発行は研究会の最も重要な活動の一つであります。最近、原著論文の投稿がありました。2名の専門委員の校閲を受けたうえで、編集委員会で審査を行いました結果、受理と決定いたしましたので、本号に掲載いたしました。まだまだ多くの興味あるデータがねむっているのではないかと思います。是非、「根の研究」に投稿をお願い致します。原著論文に限らず、研究内容の紹介、総説、学会やシンポジウム参加の報告、研究室の紹介、新刊案内など、会員の役に立つ情報を歓迎いたします。

3. 研究集会・シンポジウムの開催

研究会のもう一つの重要な活動に、根研究集会およびJSRRシンポジウムの開催があります。最近、根研究集会の開催についての問合せを頂くことが多くなってきましたので、ある程度固定した時期に開催するとともに、1年位前に計画が立てられるようにしたいと考えております。根研究集会は気軽に討論のできる小さなセミナーですので、お引受け頂ける方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい。

今年度は**10月26日(土)**に**名古屋大学農学部**において、**第6回根研究集会**を開催の予定です。詳しくは、カレンダーをご覧ください。

シンポジウムは、現在のところ不定期でもよいと考えておりますが、何かテーマ案がありましたら是非、ご提案下さい。また、組織委員長として中心的に活動して頂ければ、研究会としてできるだけバックアップさせて頂くつもりです。まだ、具体的には何も考えておりませんが、イネの栽培方法（移植と直播、稚苗と乳苗、不耕起や深水など）と根系、形態形成学・発育遺伝学・分子生物学などの研究材料としての根の問題、根の生長生理、研究方法や測定形質の問題などはどうでしょうか。なお、第1回、第2回、第3回のシンポジウムのプロシーディングはいずれも最終編集作業中で、近々、印刷に回るようになっておりますので、今年中に発行の見込みです。

4. 研究会賞に関する経過報告

すでに「根の研究」第4巻4号でお知らせ致しましたように、今年度から根研究会賞を設置いたしました。本賞の授与も、研究会の重要な活動となっていくものと期待しております。しかし、現在のところ功労賞候補の推薦が1件あるだけです。締切りは4月末日で、まだ時間がありますので、是非、よいお仕事をご推薦下さい。根研究会の学際的な性格から同じ分野の会員が少ない場合に配慮し、また、奨励賞ではその趣旨を考慮して、別刷などの資料が添付されて、客観的な審査に耐えるものであれば、自薦や同じ研究室の会員からの推薦でも受け付けます。なお、奨励賞は専門研究者を目指す若手の方を支援する意味で、修士論文レベルを一応の目安に考えております。また、特別賞は根やその生育環境に係わるプロジェクトの実施や、ライフワークに匹敵するような出版などをその例として想定しております。

5. 「根の事典」と「根ハンドブック」

多くの執筆者の方々および編集委員の方々のご協力を頂き、ほぼ予定どおりに作業が進んでいます。現在、編集責任者から順次、各執筆者の方々へコメントを付した原稿をお返しし、最終原稿の提出をお願いしております。最終原稿が揃った段階でキーワードを拾いだし、索引を作成する予定です。来年春の発行を目指して今後も努力して参りますので、ご協力をお願い申し上げます。なお、増刷いたしました「根ハンドブック」はまだ在庫があるので、どうぞお求め下さい。郵便振替（口座番号：00120-8-50252、口座名義：根ハンドブック）で3500円（会員特別割引価格、送料込）をお送り下されば、入金を確認しだい、お送り致します。なお、事務局の人手不足から発送に若干時間がかかることがありますので、予めご了承下さい。

6. 5周年記念事業について

根研究会は今年末をもって5周年を迎えます。これを記念した事業としてアイデアがありましたら、是非、ご提案下さい。「根の研究」第5巻4号あるいは特別号を発行し、今までの活動状況（「根の研究」の総目次、研究集会およびシンポジウムの詳細、出版物など）は事実の記録として是非、形あるものとして残したいと考えております。

7. 「農業および園芸」の連載について

「農業および園芸」誌上で「植物の根に関する諸問題」という連載を続けております。現在、今年の夏までしか予定が立っておりません。原稿をお願いできる場合は、事務局までお知らせ下さい。

1996年3月
会長 森田茂紀